

給付型奨学金の拡充は

32年度までは現状どおり

問 本年度より創設された給付型の奨学金が町民に喜ばれている。応募の状況はどうだったのか。震災後ひとり親世帯が増えており経済的に困窮した状況があるのではと推測する。ひとり親世帯やさまざまな事情により経済的な問題を抱えている世帯にとって、給付型の奨学金はまさに朗報である。町の宝である子ども

たちが、経済的理由で進学を断念することのないように、できるだけ多くの子どもたちに行き渡るよう同事業の拡充を考えるべきではないか。

佐藤町長 本年度の山田町育英会への応募者数は大学生12人、短大および専門学校生14人、高校生4人であった。この奨学金は、会員等で組織する町育英会総会において、

復興計画の最終年度に当たる32年度までの4年間と限定し、給付型として実施を決定している。

山田北IC 早期に改善すべきでは

国や関係機関に要望

問 三陸沿岸道路山田宮古道路が11月19日開通した。待ちに待った立派な道路であるが、豊間根の住民にとって手放しで喜べない状況がある。豊間根にある山田北ICはハーフのICで、釜石方面への出入り口はあるが

宮古方面への出入り口はない。宮古方面への通勤にも使えない状況を町はどう考えているのか。復興道路は全国から被災地を支援し、復興を後押しするものでなければならぬが、これでは豊間根は復興から取り残された

感がある。復興道路として、本来の災害時の備えとしての役割発揮と利便性を向上させ、多くの住民に利用される道路にするため、山田北ICのフルIC化を早期に実現するべきではないか。

町長 山田宮古道路の開通後、フル化に向けた多くの要望が寄せられている。国など関係機関に要望していきたい。災害時には、田名部地区に災害支援車両限定の緊急連絡路が設置されている。

山田型復興住宅

当初計画より 高くなるらないのか

高くなることはない

問 現在、山田型復興住宅で家を建てようとする設計変更がなくてもプランの値段より高くなる

はない。

問 山田型復興住宅はこれまで何戸建設されたか。

芳賀建築住宅課長 完成済みが28年度5戸、29年度5戸。相談中を含めて全部で18戸である。



木村洋子 議員
(日本共産党)

と聞くが実情は。

町長 パンフレットに提示されている各種共通仕様の内容で建設する場合、価格が高くなること



自宅再建の“希望結集”山田型復興住宅